

事業報告書

一般社団法人 育ちとつながりの家ちとせ

1.メニュー名	1 スタート事業
2.事業名	子育てかけこみカフェ
3.実施場所	ギャラリー亀岡、育ちとつながりの家ちとせ
4.実施期間	平成 30 年 7 月 22 日～平成 31 年 2 月 17 日 3 月 15 日
5.目的と課題	<p>近年、新興住宅地の増加や核家族世帯の増加、地域の高齢化など様々な要因から、地域コミュニティーの関わりの希薄化が進む中、子育ての孤立化が問題となっています。</p> <p>特に、母親自身が一般的な子育て支援施設等に通いにくさを感じていたり、不登校やひきこもり、発達障がい、グレーゾーンの子どもなど、育てにくさを抱える子どもの保護者は特に、社会から孤立した子育てになりがちです。</p> <p>不登校は全国で 12 万人を超え、毎年増加傾向にあり、亀岡市においても不登校やひきこもりは年々増加しています。</p> <p>子育てのしんどさからうつになったり、親子が共依存の関係に陥りお互いの自立を阻んでしまう例もあります。また、トラブルを抱えていても、行政等に相談できず、適切な支援を受けることができていない家庭もあります。</p> <p>同じようなしんどさを抱える親同士が繋がりあい、本音を打ち明けられる場。それぞれの親子が抱える問題を解決または、行政や NPO の支援に繋ぐなど、適切な対応ができる場が必要とされています。トラブルを抱える親子の孤立しがちな子育てをサポートし、次世代を担う子ども達の健全育成と同時に、親子の自立をサポートし、全ての市民が社会で活躍し、生き生きと暮らすことのできる街づくりに貢献します。</p> <p>各回 5～10 名程度の参加者数を目指します。</p> <p>参加された方同士の交流を促し、参加者同士のつながりをつくることや、個別での相談や、支援の紹介、相談用のグループツールを活用するなど、それぞれの親子のニーズに合わせたサポートを行い、社会に繋ぐことを目指します。</p>
6.実施内容	<p>第 1 回 7 月 22 日（日）実施</p> <p>「問題行動への対処とより良い行動の増やし方」</p> <p>会場：ギャラリー亀岡</p> <p>参加者数：8 名</p>

第2回9月16日(日)実施

「生活習慣の作り方」

会場：ガレリア亀岡

参加者数：9名

※第1回目・2回目は、南江千代を講師として登録していましたが、南江千代の一身上の都合により第3回目より中島愛子に変更いたしました。

第3回11月18日(日)実施

「子どもの行動を分析して支援を考えよう」

会場：育ちとつながりの家ちとせ

参加者数：6名

第4回2月17日(日)実施

「実際にあったケースから困り感を紐解き、解決方法を考える」

会場：育ちとつながりの家ちとせ

参加者数：5名

【どんな人が事業に参加したのか】

お母さん、幼稚園の先生、支援員、保健士など

【どんな雰囲気で行われたのか】

主にプレゼンしている教育アドバイザーを中心に、その考え方を深く理解しようと真剣な雰囲気であった。

それと同時に、みんなで話を共有するときには、実際の子どものことについて話すなど、教科書的ではなく、「実際の家庭での困りってこういうのだよね」ということが参加者全員で共有でき、和やかな雰囲気であった。

【準備に工夫した点】

・写真や、具体的例を用い、パワーポイント+プロジェクターでみんなが見やすく共有しやすいようにした。

・みんなが共通言語で話ができるように、事前に考え方の用語などを整理できるように工夫した。

・ゆったりくつろいでいただけるように、お茶やお菓子などでみんな

	<p>なで雑談ができるようにした。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ケーススタディーでは、みんなで一つのケースを考え意見を出し合い共感しあうようにつとめた。 ・参加者の実際の困りを引き出し、実際にどのように解決していったらいいのか考えていった。
7.成果と課題	<p>応用行動分析学やABC分析などの手法の説明をする中で参加者に「どんな風に整理するのか」を説明した上で、具体的な困りをどのようにして解決していったらいいのかをみんなで考え共有することができた。</p> <p>また、実際に起こっているケースを例にとり、図解や写真なども交えて成果や効果などを話し合うことで、目で見えて理解していただくことができた。</p> <p>参加者からの声として、子どもの困りに対し、自分で考えてやってみようというきっかけになったという声が多かった。また、子どもには説明したり言い聞かせたりするよりも、実際にやって経験してこそ理解ができていくものだということも胸につきささったという感想もいただきました。</p> <p>団体内では、今まで当たり前と思っていた視点を違う側面から見ることで、子どもの行動の意味がわかったり、声掛け一つで子どもの行動を修正したりできることが、とても論理的であり、整理することができたという声があがっていた。負のループから抜け出せる方策を見出すことができるのだということも非常に納得できた。</p> <p>来訪していただいた人数目標は達成していきものの、今後の課題については亀岡市内でもっと認知されていき来訪してくださる方を増やしていきたいこと、教育関係者や支援者側とつながる場所としての意味合いも作って行けたらと考えた。</p> <p>交付されたときの補足意見として「報償費・備品費・チラシに関わる経費の削減」とありましたので、それについて説明いたします。チラシを法人内で作成し、経費を削減することができました。報償費についても、予算より減額いたしました。</p>
8.今後の展開	<p>子育てに悩みを抱えておられるご家庭が一定数あることを確認することができたが、行き渋り・不登校・ひきこもりといった難ケースのご家庭はまだまだ周知が行き届かず、本当に必要なご家庭への支援に至っていないという認識があります。</p> <p>そこで、次年度は「行き渋り・不登校・引きこもりなどでお困りの</p>

親の会（仮）」として定期的に会を設けていく。

今年度は、解決策などの具体的方策についての話が主であったが、次年度は「出向く」「悩みを打ち明ける」「悩みを共有する」といった子育てのしんどさの共有にスポットを当てていくことで、本当にしんどいご家庭の方々をターゲットとしたい。

本当にしんどいご家族が、「なんとかしよう」と立ち上がるには一定の時間も必要なことから、長い目で見て、引きこもり等の社会的課題に手が差し伸べられるような位置づけの事業としたい。

育ちつなぐ家の ちとせ



当法人は、子ども達の学びを育む場です。

フリースクールとして毎日の活動を通して、子どもから大人までつながり合い、それぞれに必要な学びを追求し、育ちあうことを目的としています。

丁寧な手づくりの暮らしと、豊かな自然の中での活動をベースに、生きるという学びと、ホンモノの文化、芸術に触れながら、自分がどう在りたいのか、自分にとって必要なことが何なのかを追求しています。

また、親と子の学びの場として、親に寄り添いながら、子ども達と共に育ててゆくというコミュニティの役割も果たしています。

＜活動時間＞

月・火・木・金
9時半～15時

＜対象年齢＞

0歳から15歳程度
大人、(0歳から2歳は親子参加)

＜定期開催講座＞

茶道、料理教室、ジャングルフィット、書遊
び、オペレッタ、生活哲学、ハンドメイド

＜体験お申し込み＞

030-1417-6361(中島) / chitose.ssw@gmail.com

講座のみの参加も受け付けています
お問い合わせください。

座談会参加スタッフ



代表 南江(なんえ)千代

25年の教員生活(中学校保健体育、支援学校)を経て、2017年5月より「一般社団法人 育ちつなぐ家のちとせ」の代表となる。子育てを通して、体験し、体感したことを元にと心からたを十分に育てること、ホンモノの文化を丁寧に伝えること、ゆくゆくは豊かな花実をつけることになるところになるということを実感。自己の経験を次代を担う親子に提言し続けていく。



代表 石田千穂

大学で心理学を専攻後、保育士となる。2011年「森のようちえんそとっこ」を立ち上げる。自身の子ども不登校をきっかけに、オルタナティブ教育について学び、2013年「根っここの学校 そまめ」を立ち上げる。「一般社団法人 育ちつなぐ家のちとせ」を設立し、代表となる。



教育アドバイザー 高見雅子

企業では人事教育を担当。長男(自閉症スペクトラム、重度知的障害)に應用行動を分析を用いて自ら療養した経験を持つ。その後、小学校教員として教科担任、特別支援、不登校児対応を担当する。現在、療育アドバイザー、ヒソネススキル研修講師としても活動中。



LINEはじめました。講座やイベントのお知らせさせていただきます。お友達登録お願いいたします。

個別教育相談随時受付中
お問い合わせください

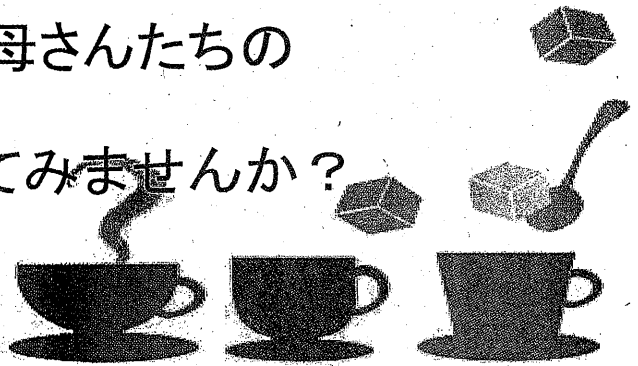
一般社団法人育ちつなぐ家のちとせ
重岡市千歳町国分下ノ川51番地
お申し込み chitose.ssw@gmail.com
https://chitose-ssw.amebaownd.com/



子育てかけこみカフェ

子どもたち、お母さんたちの

困りごとをお話してみませんか？



子育ての経験と実際の教育現場で培ったノウハウを持つ3人が、座談会形式で子育てのお悩みをお聞きします。不登校、遊び、身体の使い方、学習面、社会性、対人関係、将来のことなど、お子様にまつわる全体の課題を確認し、その上で具体的にレクチャー、アドバイスをさせていただきます。

<日時>

第一回 平成30年7月22日

第二回 9月16日

第三回 11月18日

第四回 平成31年2月17日

すべて13時30分～15時30分

ミニ講座(約15分)

- ・問題行動への対処とよい行動の増やし方
- ・生活習慣の定着のさせ方
- ・子どもの行動を理解する
- ・まとめ

<料金> 1000円(お茶、おかし代込み)

お問い合わせ・お申し込み

chitose.ssw@gmail.com

080-1417-6361(中島)

受付時間 平日10時～17時

開催場所

生涯学習施設・道の駅ガレリア

(和室またはクラブ室)

〒621-0806

京都府亀岡市余部町宝久保1-1

Tel 0771-29-2700(代)

LINE 友だち追加



LINEはじめました。
講座やイベントのお知らせさせていただきます。
お友達登録お願いいたします。

主催

一般社団法人育ちとつながりの家 ちとせ

亀岡市千歳町国分下ノ川51番地

お申し込み chitose.ssw@gmail.com

https://chitose.ssw.amebaownd.com/



この事業は亀岡市支えあいまちづくり協働支援金を受けて開催されます

第3回子育てかけこみカフェありがとうございました

11月18日(日)第3回目の子育てかけこみカフェを開催いたしました。

お母さん方や、保健師さん、幼稚園の先生をされているお母さんなど、様々な目線からご参加いただきました。

今回は、ABC行動分析をご紹介します、より分かりやすく実践的な内容になりました。

- ・いつも同じようなことで怒っている。
- ・叱っているのに変わらない。
- ・だから言ってるのに～とイライラ。
- ・いつも苦手なパターンがある。

どこの家庭にもよくあることですが、どうして改善しないのか。それは、理にかなっていないからです。

叱れば良くないことだとわかるはず
言い聞かせればわかるはず
ちゃんと説明したはず

など、思い込みが邪魔をしていることは沢山あります。今回の参加者さんからも、

「あ～そうそう。思い込みやなあ～」という声が聞こえていました。

一つ一つの出来事を論理的に考えてみれば、問題点が見えてきます。

この時、役に立つのがABC行動分析です。

先行状況→行動→結果

これを分析し、先行状況や結果を調整することで、行動を改善していきます。

今回は、先行状況や結果をより効果的に整えるための大切なポイントをお伝えし、ご参加いただいた皆さまで、ケーススタディを行いました。

叱ってもすぐまた元通り。

みんなは？ なつに上すゝいかないのは何故？

授業を邪魔しちゃうあるあるな困りごと、どうしたら改善できる？

大切なポイントを把握して接すれば、改善できることが沢山あります。

子どもの自立や自信につながり、せっかく頑張っているお母さんや先生方が空回りしなくてすむ方法。

より気持ちの良い関係を築くことができます。

親子だけでなく、夫婦間、職場でと、どこにでも活用できます。

かけこみカフェ 第四回

日時 2月17日 13時30分から15時30分

開催場所 育ちとつながりの家ちとせ

参加者感想

(1)今日も楽しくお話聞かせていただいて、あっという間の二時間でした。子どもの困りごとは親の困りごとであるんですけど、1人で悩んでいた時はどうしたら楽にしてあげるんやろう。どうしたらこの子が笑顔になるんやろうと思うことがいっぱいありました。

大きくなるにつれて、自分で問題を解決できるようにはなってきましたが、あの頃の私と息子、二人に頑張ったなあと言ってあげたくなりました。

まだ下の子がどんなふうに育っていくか未知ですが、子どもと向き合いながら乗り越えていきたいなと思います。

又、機会があればぜひ参加したいです。

亀岡市

(2)途中からだだったので、わからないこともありましたが、細かく対応の仕方を聞くことができるのが、とてもよかったです。次回もお願いしたいです。

娘が来たい！！（フリースクールに）と思ってくれたらいいなと思います。

亀岡市

(3)具体的なお話をいろいろ聞いてありがたいと思いました。

家ではなかなかできていないことも多く、ここはこうしよう、あれはできてよかったなどいろんなことを教えていただきました。

今日からぜひ実施し、そして継続していきたいと改めて思いました。

近くにこのような場所があったらいいなと思います。

山科区

(4)いつもお世話になりありがとうございます。

改めてもっとたくさんの人に知ってほしいなと思いました。

他のお母さんともいろいろなお話をシェアできてありがたかったです。

またこのような機会があればうれしいです。

よろしく願いいたします。

もし機会があれば、学校との上手な連携の取り方のコツ...みたいなこともまた教えていただけたら嬉しいです。

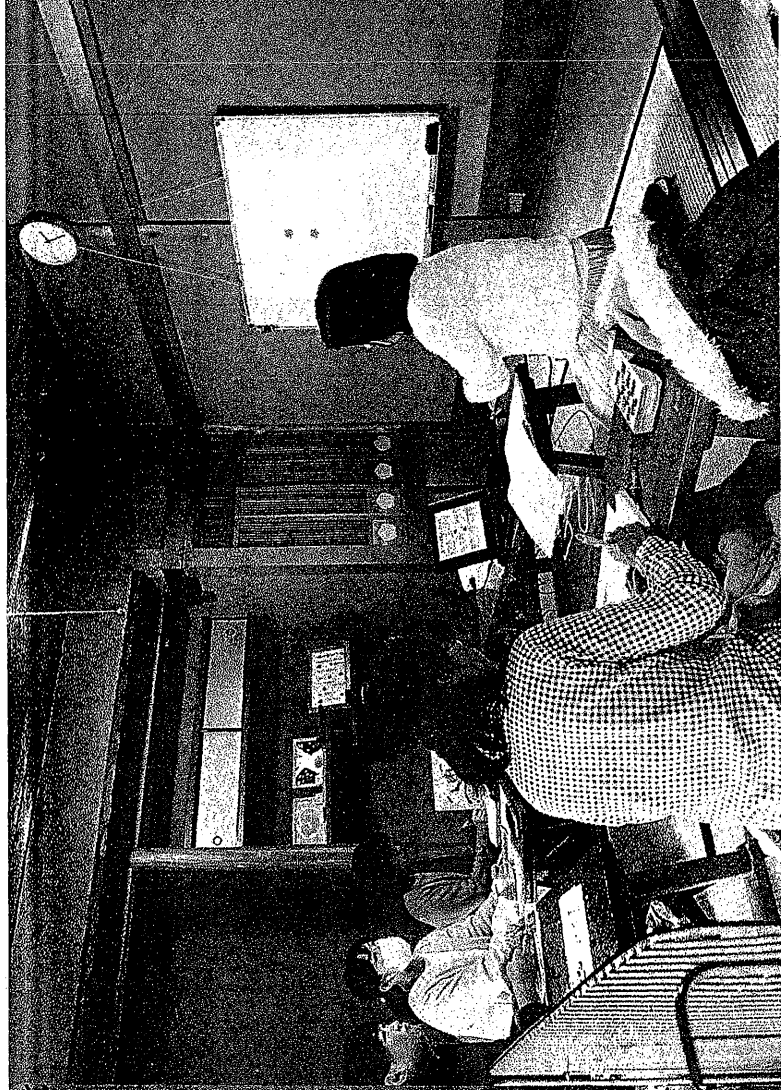
亀岡市

(5)具体例がたくさん聞いて良かったです。

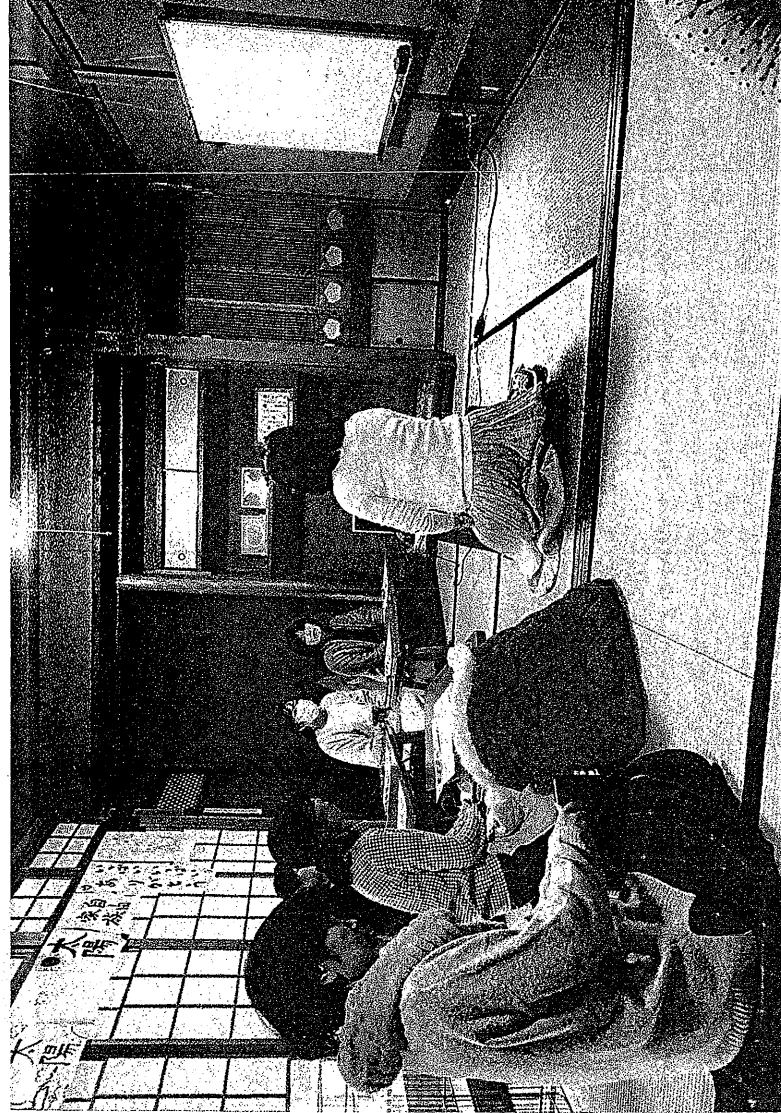
消去と強化をうまく使っていけたらいいなと思いました。

あと、立ち直りの瞬間の声かけのタイミングが難しいなと思いました。

亀岡市



第4回



食べ物系課題の二次的变化

お母さんの好き嫌いは一切受け付けず、宛に入ったお菓子がお気になかったら、「今早く買いに行つて」と言い、真は絶対折れない(中学生男子)



お母さんの対応を変化させることで、徐々に受け入れ場が広がって、喜ぶようになってきた



お母さんの対応は変わらなかつたが、お母さんの対応がよくなった。お母さんがお菓子を買って来てくれた。お母さんがお菓子を買って来てくれた。お母さんがお菓子を買って来てくれた。